

## エスポア東海橋自主防災会の活動

マンションで”向こう三軒両隣り” ~ DIG を通じての”人の輪”づくり~

### < 経緯 >

名古屋市では、地域住民主体による防火防災体制の強化を目的に「防災安心まちづくり運動」を平成 13 年 3 月にスタートさせた。これは、震災時等に住民一人ひとりが連帯感を持って「自分の身は自分で守る」「自分たちの町は自分たちで守る」ことを基本に、地域における自助・共助精神の高揚を狙いとしたものである。そこで当自主防災会も、一昔前の「向こう三軒両隣り」のコミュニティづくりを目指し、自主防災訓練に工夫を加えて、一人ひとりの防災意識の高揚と住民相互の連帯感の醸成を図っていこうと考えた。

当自主防災会は 2 棟のマンションに暮らす 208 世帯の住民で構成されているが、マンションは住民同士が顔を合わせる機会が少なく、「隣りは何をやるぞ」「マンション内のことは管理人まかせ、役員まかせ」の意識を持ちがちである。確かに平常時は何の問題もないかもしれないが、しかし災害に一人で立ち向かうのは自ずと限界があり、みんなで力を結集して、立ち向かっていかなければならない。といっても、階をまたいだ顔も見たことのない住民同士がいきなり助け合うというのは、そう簡単なことではない。

そこで、住民が顔を合わせ、共通のテーマについて話し合う場づくりからスタートした。



エスポア東海橋全景

### < 内容 >

#### 1 事前準備（平成 13 年）

自主防災会役員で討議して、DIG（図上訓練）の手法を自主防災訓練に採り入れたらどうかということになり、勉強会を開催した。そこで、同一階の住民ごとにグループ分けし、地図を囲んでフリートークを行うことで、参加者一人ひとりが当マンションの住民としての問題意識を共有するとともに、問題の解決に向けてみんなで知恵を出し合えることを確認した。

#### 2 DIG の実施（平成 14 年、15 年）

住民を階別に分け、東海地震をテーマにした DIG を各年 3 回実施した。平成 15 年 1 月には、この討議結果を踏まえた「自主防災マニュアル（地震編）」（A4 判 23 ページ）を編纂し、全世界帯に配付した。



DIG 実施状況

### 3 避難経路の検証訓練及び応急資機材の設置（平成 16 年、17 年）

平成 16 年からは、図上訓練に留まらず、屋上からの視察や実際に避難経路を歩いて、その結果気づいたことを検討した（各年 3 回実施）。平成 16 年 9 月には応急用給水装置を、平成 17 年 10 月には災害用トイレを装備した。また AED も平成 17 年 12 月にマンションのエントランスホールに配置した。



屋上から避難所  
までの経路確認



AED の設置状況

### 4 実践的自主防災訓練（平成 18 年）

本年は給水装置やトイレの組み立ても訓練に盛り込み、初期消火、負傷者搬送、炊き出しの各訓練も取り入れた総合的な自主防災訓練を実施。参加者は積極的に対応した。



「握手（にぎりて）付き  
ベッドパット」を使用した  
負傷者搬送訓練



災害用トイレ  
組み立て訓練



「簡易炊飯袋」を  
使用した炊き出し  
訓練



応急用給水装置  
組み立て訓練

### < 苦労した点 >

- 1 住民同士が顔を合わせる機会が少なく、人の繋がりも弱いマンションで、住民同士の連帯感の醸成を図るためには何からスタートすればよいか頭を悩ませたが、検討した結果、適度な人数（1組8人程度）のグループで討論する場を設けるのが一番ということで、DIGの手法を採り入れることとした。
- 2 DIGを行うにあたっては、参加住民が皆で考え、活発に意見を出し合える雰囲気づくりに、特に当初、苦慮した。



訓練の反省会

### < セールスポイント（特徴） >

- 1 DIGを通じて、このマンションには、どんな人がいるのかがわかった。  
マンション住民がお互いを知り合うことにより連帯感を持つことができたほか、隣りには、この階にはどんな人が住んでいるのかが知ることができた。また、災害時等にはこの人のこんな知識や技能が役に立つのではないかとということまで、把握することができた。
- 2 みんなの意見を、マニュアル作成や災害用トイレ配備など、具体的な形でフィードバックすることができた。  
自主防災会長、自主防災会役員は毎回のDIGに参加することにより様々な意見を生の声で聞くことができ、また住民も自分たちの意見であることから、スムーズに実現化することができた。



独自に作成した  
自主防災マニュアル



◀ マグネット付き避難状況  
確認シール（各戸配布）

# 緊急用防災器具台帳

資料

平成18年3月3日現在  
エスポア東海橋自主防災会

No	品名	個(台)数	購入年月日			備考欄
			年	月	日	
1	収納倉庫(防火用具入れ)	1				
2	テント	2	12	1	17	
3	担架	2	7	12	5	
4	携帯用アンブ(非常用)	1				ハンデータイプ
5	ロープ	1				50m
6	ビニールシート	2				3.6mX3.6m
7	飲料水タンク 30L用	1				
8	ヘルメット(管理組合)白	12	11	6	21	
9	ヘルメット(防災用)氷色	30				
10	ヘルメット(防災用)白	3				
11	軍手	200				
12	三角巾	120				
13	包帯	40				
14	バール(大、小)	2				
15	ジャッキ(大、小)	2				車用
16	カッター	1				鉄筋、針金切用
17	消火器(常設)	67				
18	消火器(倉庫)小	7				
19	バケツ(防火用)赤	23				
20	バケツ(防火用)黄	22				
21	バケツ グレー	3				
22	すずらん灯	1	11	9	1	ソケット10ヶ付ケーブル
23	緊急用給水装置	2	16	9	10	
24	事務用品					
25	画板(クリップボードA4用)	20				
26	画板(クリップボードA3用)	3				
27	東海学区地図A 1ケース入り	3				
28	エスポア地図A 1ケース入り	3				
29	手まき充電ラジオ	4	17	3	26	
30	小型発電機	1	17	3	29	AC100V15AX2
31	災害用 小便器 2人用	1	17	10	19	
32	災害用 大便器 1人用	1	17	10	19	
33	災害用 大便器1人用	6	18	1	25	
34	災害用 トイレテント	6	18	1	25	
35	災害用 マンホール	6	18	1	25	
36	握手付 ベッドパット	6	18	1	25	
37	アルミ製リヤカー	6	18	1	25	